

序

『相関社会科学』編集委員会

本誌『相関社会科学』は、東京大学大学院総合文化研究科国際社会科学専攻（相関社会科学コース）が中心になって発刊している学術誌である。学際的・総合的な社会科学研究の創造と進展を目的とし、1990年の創刊から今回で第24号を迎える。

本号の構成はつぎの通りである。

まず本号の中心となる論文5編はいずれも一般公募によるものである。一般公募には13編の応募があった。例年と同じく、すべての論文に関して匿名の複数のレフェリーによる厳正な審査をおこない、この5編が掲載されることとなった。惜しくも掲載に至らなかった論文もふくめ、投稿していただいた方々、レフェリーの方々、そのほか本号の作成にご協力いただいた皆様に厚く御礼申し上げたい。

公募論文に続いて、書評論文を1編、調査報告論文を2編掲載した。後者は相関社会科学コースが2013年度に取り組んだ「変わりゆく地域社会——課題への新たな取り組み」をテーマとする学術調査の成果の一部である。相関社会科学コースの日常的な関心を知っていただく一助になれば、幸いである。

また今号独自の企画として、相関社会科学コース出身の研究者である中野剛充さんの追悼論文を2編掲載した。執筆のお二方含め、関係各位に厚く御礼申し上げたい。